

現在、好生館では、研究のために当館で保管する検体・診療情報等を他の研究機関に対して提供しています。この研究は倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、実施しています。

研究の詳細についてお知りになりたい、またはこの研究に対して利用・提供してほしくないと思われた際には、好生館の問い合わせ担当者までご連絡ください。

**【研究課題名】**ACS 症例に対する薬剤溶出性ステント留置時の至適エンドポイント検証のためのレジストリ研究

**【共同研究の代表研究機関及び研究代表者】**

代表研究機関・所属・研究代表者：佐賀大学医学部循環器内科・医工循環器学講座・園田信成

**【利用・提供の対象となる方】**

2018 年 1 月～2021 年 12 月までの間に、循環器内科において急性心筋梗塞または不安定狭心症と診断され、血管内超音波を用いた心臓カテーテル治療を受けられた方

**【提供をしている検体・診療情報等の項目】**

患者背景、併存疾患、血液検査、カテーテル治療所見、血管内超音波所見、カテーテル治療の合併症、退院時のデータ、カテーテル治療後のイベント（死亡、心筋梗塞、脳卒中、出血、ステント血栓症、心不全、血行再建等、急性冠症候群による入院）

**【利用の目的】**

本研究は、急性冠症候群(ACS: Acute Coronary Syndrome)を発症し、血管内超音波を用いた心臓カテーテル治療（経皮的冠動脈インターベンション、PCI: Percutaneous Coronary Intervention）を受けた症例を登録後、診療録より追跡調査を行うことにより、血管内超音波による評価の方法、治療成績に影響を与える因子を探索することを主な目的とします。本研究は今後の急性冠症候群の治療の方向性を決める極めて重要な研究です。

**【研究について】**

遺伝子解析研究（有・無）

営利企業との共同（有・無）

**【提供している研究機関及び研究責任者】**

1. 佐賀大学医学部附属病院 循環器内科 園田信成
2. 小倉記念病院 循環器内科 道明武範
3. 産業医科大学病院 循環器内科 穴井玲央

**【利用期間】**

2018 年 1 月～2024 年 12 月までの間

**【佐賀県医療センター好生館 研究責任者及び問い合わせ担当者】**

研究責任者：循環器内科 横山国宣

問い合わせ担当者：循環器内科 横山国宣

対応可能時間：平日 9 時～16 時

電話：0952-24-2171（代表）

E メール：[rinsho@koseikan.jp](mailto:rinsho@koseikan.jp)（臨床試験推進部）